

会議録

1. 附属機関の名称

犬山市健康まちづくり推進委員会

2. 開催日時

令和8年3月13日（金）午後2時から午後3時30分まで

3. 開催場

市民健康館さら・さくら 交流ホール

4. 出席者

（1）委員

宮田昭男、桑原生秀、宮崎貢一、榊原吉峰、竹腰篤、杉浦隆、紀藤秀夫、
布目訓久、小林光子、奥村好樹、勝又美樹、岡村千里、光清毅

（2）事務局

健康福祉部 部長 前田

健康推進課 課長 水野、課長補佐 武内、課長補佐 古田、
主任主査 松本、主任主査 田中、主任主査 中根

5. 内容

総合犬山中央病院への先端医療機器助成について

6. 傍聴人の数

0人

7. 内容

<p>課長</p>	<p>定刻となりましたので、令和7年度犬山市健康まちづくり推進委員会を開催いたします。</p> <p>本日は、委員会の開催にあたり、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、健康推進課長の水野と申します。議事に入るまでの進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして会議録の公表について、申し上げます。</p> <p>この「健康まちづくり推進委員会」は犬山市附属機関の会議でありますので、「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱第5条第3項」により会議録等を公表することとなっております。</p> <p>そのため、同要綱第5条第2項により会議録に署名が必要となります。この後、会長から2名の委員を指名していただきますので、指名されました委員におかれましては、後日、ご協力をお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、ここで本日の出席者についてご報告申し上げます。</p> <p>本日ご都合により 1 号委員の〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、2 号委員の〇〇委員、3号委員の〇〇委員、〇〇委員、4 号委員の〇〇委員からご欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>なお、2 号委員の〇〇委員については、少し遅れると連絡をいただいておりますので、後程、みえると思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>委員 20 名のうち、現在は 12 名の委員にご出席いただいておりますので、当委員会の規則第4条第3項の規定に基づき、本日の委員会は成立となります。</p> <p>次に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の会議資料は、事前に配付させていただいた資料と本日準備しました資料の合計5種類があります。順に確認させていただきます。</p> <p>① 本日の次第 ②「犬山市健康まちづくり推進委員会規則」 ③「犬山市健康まちづくり推進委員会委員名簿」 ④(資料1-1)先端医療機器導入費補助金交付要綱 (資料1-2)犬山市先端医療機器導入費補助金について (資料1-3)先端医療機器導入費補助金事前協議資料 ⑤(資料2)犬山市健康づくり推進事業所認定・表彰について</p> <p>となっております。不足等ございましたらお申し出ください。</p> <p>それでは議事に入ります前に、副会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
<p>副会長</p>	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>今日、会長にぜひご出席をいただきたかったですけれども、最近体調を崩しておられまして、今日まで待っていたんですけれども、どうしても出席ができないと、急遽お休みになりましたので、私は、会長に代わって、今日の議事を務めさせていただくことになりましたので、よろしくお願いいたしますを申し上げます。</p>

本題に入る前に、この犬山の健康を取り巻く現況について、かいつまんで短時間ですけどお話をさせていただいて、私の方の挨拶に代えさせていただきたいと思っておりますので、ご承知おきをいただきたいと思います。

現在、私どもが直面している健康を取り巻く社会環境の現状は、2008年、平成20年ですね、2008年をピークにして、総人口が減り続けております。

2024年、令和6年には65歳以上の人口割合が、29%を超える。人口減少超高齢社会に突入しております。

結果としましてですね、申告な労働力の不足、医療や介護の負担額、社会保障費が増大する等の重要な問題が発生しつつあります。

犬山市ではですね、65歳以上の高齢者人口は緩やかに増加をし、本年1月の時点で約1万1000人に到達いたしております。大変な数になってきております。

また、当市の要支援、それから要介護者も増加し続けておまして、2005年にはですね、3708人。14年先の2040年、令和22年、令和22年まであるかどうかは別問題して、その部分になりますと、1000人に増えまして、4514人になることが、現在推計されております。

医療介護の費用にかかる負担のさらなる増加が予測されております。

団塊の世代が後期高齢者に突入する2025年問題に続いて、近年、2040年問題が注目されております。

ご承知かと思えますけど、高齢者の人口が一貫して増加し続け、約35%と最大化する2040年ごろには、以上の理由から、医療介護インフラ等の社会システム維持が困難になるのではないかと懸念をされております。

このような社会環境の中、可能な限り、自分らしく心豊かに自立していくには、健康であることが、人間にとって最大の基本であると思えます。

私自身もですね、老齢化というか、高齢化になるにつれて、日々、健康の大切さを思うようになりました。

この問題についてどうしたらいいかということと言いますと、皆さん、耳にたこが当たる言葉かと思えますけど、やはり健康寿命の延伸、という施策をすべきより他はございません。そういう意味でこの委員会の役割というのは、益々重要になってきております。

国ですね、第三次では、新しい視点として、自然に健康になる環境づくりを取り入れております。

健康に関心が薄い層、関心があっても様々な理由から健康づくりに取り組めない人、いわゆるセルフメディケーションですね、そういう方も大勢おります。

自分自身の健康を守るため、特別の努力をしなくても、日常生活の中に、健康的な習慣が無理なく組み込まれるよう、犬山の実情に応じた環境づくりの推進に向けて、当委員会で検討していきたいと思っております。

最後に、健康寿命の延伸についてはこの委員会を十分に活用して、真剣に先進的に取り組んで参りました。

その結果として、健康寿命が何と言ったらいいんでしょうか、高齢者が非常に多い割

<p>課長</p>	<p>には、認定者が非常に少ない。それから不健康な期間がどんどん犬山の場合は短くなっております。それはやっぱりこの委員会で皆さんが真剣に検討されたおかげじゃないかと思っております。</p> <p>さらにこの問題については今後、進化を深めていかなければならないんじゃないかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の議事進行につきましては、規則第4条第2項の規定に基づき、会長が議長をすることとなっておりますが、本日は会長がご欠席のため、規則第3条第4項の規定に基づき、副会長に議長をしていただきます。</p> <p>副会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、次第に沿いまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>その前に本日の会議録の署名者について、私から指名ということですので、お名前を申し上げます。〇〇委員と〇〇委員にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは次第に沿って議事を進めてまいります。</p> <p>事務局より、15 時 30 分を会議の終了時間としたいということですので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第2でございますけど「総合犬山中央病院への先端医療機器助成」について事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>【資料1-1 犬山市先端医療機器導入補助金交付要綱について説明】</p> <p>【資料1-2 犬山市先端医療機器導入費補助金について説明】</p> <p>【資料1-3 犬山市先端医療機器導入費補助金事前協議書について説明】</p> <p>総合犬山中央病院の〇〇委員からこの助成についてお話の方がいたと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>日頃より大変お世話になっております。</p> <p>先般、本館の建て替えについて、この会でもいろいろプレゼンテーションさせていただいたと思うんですけども、社会法人にさせていただいたのは 10 年前、この地にお世話になって 44 年になるんですけども、7 年前に当院の耐震の診断において、かなり厳しい、経済も厳しい状況で建設も高騰している状況なんですけれども、建て替えざるをえないという状況で、昨年 8 月から基礎工事が始まり、今年 1 月から鉄骨の一部が建ち始めて、来年 1 月に完成予定、4 月から新規オープンという予定になっております。</p> <p>その中で、この地域における社会医療法人、確かに県から認めていただいた、この地域、中核病院として、役割を担わさせていただいておる自負はあるんですけども、</p>

まだまだ当院において、特にソフト面ですね、医療の質、その充実というのは、まだまだ道半ばでありますし、例えば地域医療構想、この近隣の三次救急の病院さん、江南厚生さんそれから小牧市民さん、それから春日井市民さん、この三次救急の病院と、我々二次救急の病院との病業連携、それから機能分化ですね、これを求められて、患者様の病業連携のやりとり数、例えばこの江南厚生さん、その亜急性期の地域医療包括病棟といいますかその患者様は機能的に三次救急の病棟は最近もう廃止になりましたので、そこを当院が、亜急性期の患者さんはちょっとやらせていただいたり、そういう意味でその連携の強化ってのありますし、やはり地域の開業医の先生の方との連携ってというのは、より強固にしていけないと、この地域の健康の充実に繋がらないという、観点がですね、非常に我々も、何とかそこを充実させたいという思いであります。

現に、救急、例えば年間の件数 2500 あるんですけども、年々、コロナ後に増えておりますし、市長から課題が 3 つ与えられたと思うんですが、救急の充実と、地域医療の質の向上、それから、開業医の先生方との連携強化というのを、課題に与えられて、その 3 つにおいて、特に重点的に我々も努力するようにしております。

それで、その中で今、MRIとアンギオ、この 2 つが先端医療機器として挙げられたんですけども、当然その老朽化もあるんですが、やはり今の機械、まず、かなりスピーディーさに非常に欠ける、例えば 1 週間予約待ちとか、そういうのをできるだけ 1 日も早く検査を受けていただけるように、スピーディーな機械を求められているところと、それをより正確な診断をつけるという点であったり、アンギオに関しても、診断だけじゃなくて、直接その治療に持っていける、今で言うと、まだその辺不十分なんですけれども、よりその辺を強化できるというところで、新しい機器を、この地域のために、貢献できるように購入したい、という思いでこの 2 つを導入を予定させていただいております。

我々のその課題の一つの医療機関との連携において、機械をいろいろ利用させていただく共同利用ですね、これに関して、少しずつ数は増えてきてるんですけども、まだまだ、十分ではない。利用をスピーディーにさせていただく目的それから、場所は当院にあるにしろ、やはり市のいわゆる医療機器という存在にしたいという願いであります。

ですから、本当の意味の共同利用という、サービスの向上としては、読影も専門医がおりますけれども、スピーディーなその診断と、それ以上に依頼をしていただくのに、スピーディーさをできるだけ持って、正確で、そういう対応をしていきたいという思いであります。

ですから、できるだけ多くの先生方にも利用させていただいて、まさにその共同利用という意味合いを持たせたいという願いであります。

この 2 つ、役割はそれぞれ、ありますし、当然今のこの会の健康寿命を延ばすという、目的にも貢献できるものであると認識しております。

これらにおいての購入に総額 2 億 7000 万円ですけども、今回 1 億 3 千万円補助ということをお願いできればありがたい、というお願いであります。

事務局	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次第2の説明は以上になります。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
副会長	<p>いま事務局から機器導入についての詳細な説明がございました。それを含めた形で〇〇委員から機器導入にあたっての説明がありました。</p> <p>こういう機会を利用して、皆様のご意見をお聞きしたいと思いますので、ご質問したい方は、挙手をさせていただきたいと思います。</p> <p>どなたかございますか。</p> <p>はい、では〇〇委員、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>いろいろな機器がありますよね。他にCTですとか、あと、ペットCTとかあります。放射線治療のリニアックなど、そういった他の機器は、検討はされたんでしょうか。</p>
委員	<p>CTが一番非常に汎用性が高いという認識をしているのですが、CTは今の機器でも、スピーディーな対応をしており、件数も増やすことはできておりますので、それよりは、MRIの非常に一ズが高く、1回にかかる撮影時間が非常に長いということで、これに関して必要だろうと。</p> <p>それからアンギオも、治療にかなり結びつく点で非常に重要だろうというところでこの2点をあげたわけです。</p> <p>PET検査の機器などは相当高額なんですね。今、建設の費用も相当苦しんでおる中で、ちょっと余裕がないというところ。</p> <p>他の例えばリニアックですね。ただそれを精度が高いものだったりとかにすると相当高額になるので、やはり価格面からちょっと厳しいんじゃないかという点で、中間点としても、この2つはいいんじゃないかという点から、これらを選んだ経緯であります。</p>
副会長	<p>その他ございませんか。それでは私の方から、お名前を指名して、それに対してお答えをいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>医師会を代表して、今日、支部長が来ておりますので、〇〇委員の方からですね、中央病院に対しての、情報とか、特に、やはり我々、理事をやっておりますので、プライマリーケア、それから、二次救急を中心に中央病院との関係について、お話を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>尾北医師会犬山支部を代表する立場として、犬山中央病院さんへの支援に対する意見を申し上げます。</p> <p>犬山中央病院は、地域医療の中核として救急医療や入院医療などを担い、市民の健</p>

	<p>康と命を支える重要な役割を果たしていると私は考えております。</p> <p>特に、これからの社会は高齢化が進む中で、地域における入院医療や、救急対応を維持することは、今後ますます重要になると考えます。</p> <p>しかしながら、医療を取り巻く環境は非常に厳しく、人件費の増加や医療資材費の高騰などにより、地域の中核病院の経営は全国的にも大きな課題となっております。</p> <p>こうした状況の中で、地域医療を守るには、行政の支援が不可欠であると私は考えております。</p> <p>犬山中央病院が安定して医療供給を続けることは、市民にとっても大きな安心に繋がります。医療体制が弱体化すれば、市民の受診環境や救急医療にも影響が出かねません。</p> <p>そのため、医師会として、また私個人としても、地域医療を守る観点から、犬山中央病院に対する補助について、前向きにご検討いただくことをお願いしたいと考えます。</p> <p>地域の医療体制を維持するための重要な取り組みとして、ぜひご理解とご支援をお願い申し上げたいと考えております。以上です。</p>
副会長	<p>続いて、〇〇委員。ご意見ございませんか。</p>
委員	<p>中央病院さんは今、社会医療法人これは大変公益性の高い法人なんですけども、救急医療、災害医療など、今までは公立病院が担ってきたようなそういった役割を民間病院として果たしておられます。</p> <p>一方、犬山市の住民にとっては、公的な医療機関がないということですね、中央病院の存在という役割というものは重大な責務を背負っている。</p> <p>市内唯一の二次医療機関ということでもあってですね、市民からは大切な医療機関であることは間違いありません。</p> <p>私も犬山支部は地区医師会の一つとしてですね、地域医療の最前線で活躍して、市町村と連携して健康診断、予防接種、そして一次医療、二次医療の連携と、地域医療体制を作っていくことに、重要な使命を持っているところであります。</p> <p>ですから中央病院さんのような公益性の高い病院がですね、十分な、医療提供ができるような、そういった補助金とか、行政からの支援がいただけることはですね、一次医療、二次医療の連携を図れるとともにですね、地域の住民の方に質の高い医療を届けることにも繋がると思いますので、そういった方向に向かうように、ご尽力いただけると助かります。以上です。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。また後程、総括的に、時間が許す限り意見交換ができればと思っておりますが、とりあえず皆さんから、ご意見なり、或いは、ご質問なり、聞きたいなと思っております。</p> <p>歯科医師会の〇〇委員、一言お願いいたします。</p>
委員	<p>犬山中央病院さんと従来より、尾張北部医療圏の中で二次医療機関ということで、地</p>

	<p>域医療に携わっていただいております。本当にありがとうございます。</p> <p>最近の話で、ニュースで全国の公立病院が、8割が赤字っていうことで、いろんなところで公立病院とか閉鎖したりとか、そういったお話がありますけれども、そういった中で犬山は公立病院が無い中で、中核的な役割を果たしていただいております。</p> <p>今回のMRIと血管撮影装置ですね、従来より、救急外来の方に、担っていただいておりますけれども、先ほどの話で2500件、年間にあったということなんですけれども、今後、犬山市、高齢化が現在に比べて高いですので、2040年を迎えて、高齢化の中で救急の需要といいますか、そういったニーズが、どんどん増えてくると思います。</p> <p>今回のMRIと血管撮影装置ですけれども、従来の救急に加えて、高度救急に対応できると思いますので、これは本当にぜひそのようにしていただきたいかなと思います。</p> <p>また今後、先ほど、お伺いしましたけど第三次医療機関の方で、江南厚生ですかね、地域包括ケア病棟の方が削減されてしまうということで、その分を、二次医療機関の方で従業員さんの方で担っていただくっていうことで、今後は、地域の犬山市民の地域医療といいますか地域包括ケアですね、今現在でも地域包括支援センターの方も運営されておりますけれども、引き続いて地域包括ケアの拠点になるような、働きを担っていただけるといいかなっていうふうに思っております。</p>
副会長	<p>〇〇委員、〇〇委員、それから〇〇委員の方から、非常に期待をされておられるというふうに聞きましたけど、それに対してどう答えるつもりでおられますか、率直にお話をお伺いしたい。</p>
委員	<p>大変なご意見をいただきまして、我々に対する期待感っていうのは本当にありがたいんですけど、ますます重責を担っていく、我々の義務というか、この市に貢献する、地域に貢献するために、当院がどれだけのことができるのかということを改めて突きつけられたように思います。</p> <p>やはり、救急において依頼されたら断らないよというのは、当然、当たり前なことなんですけど、それをやっていかなきゃいけない。</p> <p>三次救急の部類のものであれば、当然、連携での紹介という形になるかもしれませんが、やはりこの地域で完結できるために、できるだけ多くの方を、極力、断らない医療を担っていく。そして改善して回復して、その次の段階で、また、紹介いただいた医療機関にお戻りして、そして、検査も、この高度医療機器も多くの先生方に利用していただけるように、我々が整備して整えていくという、非常に改めて思いましたので、何卒ご協力よろしくお願いします。</p>
副会長	<p>また、〇〇委員の方から、それなりの覚悟っていうんですかね。</p> <p>これだけの公金を使って高度機器が導入されるってことで、覚悟もさらに高まって</p>

<p>委員</p>	<p>えるんじゃないかと思います。その2つに答えるようにお願いします。 あと医師会の先生以外、〇〇委員、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>お話伺っておりまして、ただ私も一市民というような立場で聞いておりまして、でもこの医師会を代表する先生方が、地域医療のために、この中央病院への機器の導入につきましての補助について、非常に前向きといいますか、必要性があるというふうに認識されているお話を聞きまして、私もそういう知識はないんですけども、そんな先生方がおっしゃってみえるってことは、非常に重要なことだなというふうに改めて認識をした感じでございます。</p> <p>これからも中央病院の方、一生懸命やっていただいて、地域医療を支えていただけたらなというふうに考えております。ありがとうございました。</p>
<p>副会長</p>	<p>引き続きまして、商工会議所の〇〇委員の方から。</p>
<p>委員</p>	<p>今日労働産業の代表という、そういう役割で来ていまして、もう一人労働の連合の方がみえていませんが、商工会議所の事業の方々の代表として一つ言いますけど、医療機関という見方は当然あり、総合医療機関とは見ていますけど、地域のインフラ的な役割を持っています。</p> <p>といいますのは、企業の方々は、今人材がなかなか確保できていないんですよ。この企業から見ても医療が充実してるところについては、人材の確保の可能性が非常に高くなります。そのためにも総合病院は必要だというふうに理解しています。</p> <p>いろんな企業の方が人材確保のために、いろんな手法をとってですね、従業員を募集していますが、そういう場合でも非常に大きいんですよ。ぜひ、この補助事業につきましてはお願いしたいと思ってます。</p> <p>それから私ども総合医療の方々以外にですね、開業医の方、医業の方、様々な方が私どもの会社の会員さんにもなってもらってまして、いろんなおつき合いを持っています。</p> <p>そういった方々に対してですね、この補助も全体にいるかなと思ったんですが、それが、先ほどその他のところで、地方公共団体の補助の法的根拠、これに総合病院の方は該当するってことで、それは別に問題ないかなと思いましたがね。</p> <p>これ当然、そんなに範囲を広げても無理な話ですので、ここでは総合病院の方にですね、こういった補助をぜひ会社からお願いしたいと思っています。</p>
<p>副会長</p>	<p>医師会の先生、今日小児科の専門の先生、〇〇委員が来ておられます。</p> <p>先ほど冒頭で私申し上げましたように、人口減少という流れ、少子化現象ですね。この少子化の時代を迎えてきておりますので、子供さんたちの健康っていうのはすごく大事ですね。やはり子供が健康でなければ、犬山においても活力がでません。町に活気が出てきません。</p> <p>子供の健康を守っていくってことはこれから、まちづくりを考える場合に大きな</p>

委員	<p>目玉の一つになるんじゃないかなと。</p> <p>犬山は確かに国宝犬山城とか、名所の木曾川がありまして、他の市町村に比べればうらやましがられるようなすぐれた地域なんですけども、やはりそれに対して、小児の健康という問題になると、どうかなっていうところもまだございます。</p> <p>この件に関してもですね、中央病院の方も頑張ってもらっているんじゃないかなと思っておりますけど、〇〇委員から、この件について、一言、伺いたいと思います。</p>
委員	<p>〇〇委員、〇〇委員がおっしゃったように、中央病院の先生方は、日頃から本当に頑張ってもらってるし、地域医療について、救急医療を含めて、多大な貢献をされているのは医師会の先生方も皆さんご存じだと思います。</p> <p>それで今回、建て替えということでまた新しくなるということで、また新たな気持ちで地域医療に貢献して下さるんだと思っておりますし、そして先端の医療機器が入るということで、またこれもうまく使っていくというのは当然なんですけども、ハードの面だけじゃなくてスタッフ、また人員育成という面でも、内容をもっと上げていただけたらとは思っております。これからも本当にお世話になることが多いと思います。</p> <p>期待している点がほとんどだと思いますので、私たち開業医も、目指すところはほとんど一緒だと思っておりますので、できる限り協力してやっていけたらと思っております。</p> <p>今、〇〇先生から私の方に、小児に関して、申しますと、非常に小児医療はまた厳しい状況に今なっているんですね、少子化ということもあります。</p> <p>また、感染症の変化ということで、非常に小児科自体が、小児科医になりたいという人も少なくなってきた可能性もあります。</p> <p>病院でも小児科を持たないところも、当然ございます。</p> <p>また、産科、婦人科もそうですね。産科もないところも多くなってきております。</p> <p>そういう面で非常に小児を含めた少子化という面についてはもう、非常に難しい面があって、一自治体だけでどうにかなる問題ではないんだろうと思っております。</p> <p>それから、中央病院さんも、今、小児科を開いていただいております、優秀な先生、二人体制でやっていただいているのは、非常にありがたいと思っております。</p> <p>これからも、あまり病院にとって、収入にはならないかもしれませんが、決して無駄な医療では絶対ありませんので、小さいながらも小児科を続けていただきながら、地域の小児医療に貢献していただけたらと思っております。</p>
副会長	<p>今、〇〇委員から、ちょっと地味な、うっかりすると忘れ去られそうな、小児科になってきておりますけど、現況をわかりやすくお話をさせていただきました。</p> <p>中央病院に対しての小児に対する期待っていうのも大きいと思いますけど〇〇委員、何かそれに対して補足することはありますか。</p>
委員	<p>うち小児科だけじゃなくて、総合病院ですから、収益性の高い所とそうでないところももちろんあるんですけど、やはりある程度、その科をしっかりそろえて、皆さん、こ</p>

<p>副会長</p>	<p>の地域に貢献するという意味では、これはもう絶対必要だと思っておりますので、この社会医療法人という立場からも、ぜひ、しっかり各科を強化していきたいですし、これまで以上に期待され、それに答えられるように、質の向上を目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>小児に関してですけど、今日、犬山の児童生徒の健康を預かっておられる責任者の〇〇委員が来ておられます。</p> <p>今日、中央病院に対して、いろんなご要望とか、中央病院のこれからの位置付けについて、いろいろディスカッションしてるんですけど、学校側からの要望もいろいろあると思いますけど、この機会に忌憚のないご意見を述べていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いつも犬山中央病院さんには、子供たちがけがをしたときなど、大変お世話になっております。特に子供たちの怪我っていうのはもう診療時間が過ぎてからなんっていうこともあるので、時間外にも受け入れていただいたりということで、ご迷惑お掛けしてるところもあるんじゃないかと思いますが、本当にありがとうございます。</p> <p>また、資料の 1-3 の 2 ページにもありましたように、そういった診療の部分だけではなくて、学校の方に出向いていただいたりとか、中学生の職場体験を受け入れていただいたりということで、そういった部分でも大変お世話になっております。</p> <p>私の立場から、地域に貢献してくださる病院に、お願いしたいこととなると、やっぱり今の子供たちを取り巻くいろんな状況っていうのが、刻々と変化しておりまして、〇〇委員、小児科の先生なのでよくご存じかと思うんですけども、いわゆる病気ということを抱えている子供たちが、一定数おりますけれども、心の方の関係と深い病気というのも、最近本当に目立ってきているなあということを思っています。</p> <p>小学校の高学年ぐらいから、ちょっと朝起きれなくなってきたりということで、まず大抵は、自律性調節障害とか、そういった診断を受けるような子が出てきます。</p> <p>それから、なかなか治療がうまくいかずに進んでいくと、学校に行けなくなったりしてっていうところから、だんだんと心が負担、不安定になってきて、そこへ加えて思春期っていうのが入ってきますと、中学生になると、それがだんだんと鬱のような状況になったりというようなことで、今の子供たちを取り巻く健康ということで一番、今、私たちが苦しいなと感じているのは、そういった心療内科の分野であるだろうと思われるようなところが、結構苦しいなと感じているところでもあります。</p> <p>私たちとしては、そういったときに専門の先生にアドバイスをいただけたらなあということ常日頃思っていて、よその市ですけれども、その市の総合病院の先生がアドバイザー的に、養護教諭の集まりに来ていただいて、講義をしていただいたりっていうような、そういう活動を定期的に行っているっていう市もあるというふうに聞いています。</p> <p>ですので本当に、そういった子供を取り巻くいろんなそういう病気、それから発達障害を含めたいろんな今、増加傾向にあるような、そういった状況について、本当に、専門の先生からアドバイスをいただけるような、そんな機会を作っていただけると大変</p>

副会長	<p>うれしいなと思います。</p> <p>そういったところで養護教諭が勉強をして、それが目の前にいる子供たち、或いは保護者の方たちに、アドバイスできるというような、そんなことができたらいいいのかなっていうふうに思っています。よろしくお願いします。</p> <p>〇〇委員から非常に我々気づかないような、きめ細かな先生らしいお話がございました。</p> <p>今ここで問題解決するわけでもないし、大変な、これから時間が要ると思いますけど、まずは少しでも進めなきゃ行かなきゃいけない。</p> <p>ちょっとこれについて、〇〇委員何か、コメントできる範囲で結構ですけど。</p>
委員	<p>厳しいというか、痛いところつかれたお話であるんですけども、発達障害が今、神経発達症という言い方になっているんですけども、かなり増加してきているのは間違いない。</p> <p>増加しているというか、一般の方の意識が高くなったということで、疑いを持たれる方が多くなったと、いう面もあるとは思いますがね。</p> <p>そしてそういう面が、国が動いて今度、来年度からかな、五歳児健診というのが、始まります。</p> <p>いわゆる 3 歳から就学児まで何も健診がない。ちょうどその頃に発達に問題が明らかになる時期だと言われておまして、五歳児健診が始まることによって、別に診断をつける目的ではなくて、何を困ってるか、子供たちが困っていることを気づいてあげよう。</p> <p>それを家族も気づいて、そこから助言をするなり、フォローしよう。</p> <p>それによって学校に入ってから気づくよりは、その前に気づいて対処したほうが当然、学校不適應とか、そういう面が起りにくくなるというのはもう、報告としては上がっておりますので、これが今まだ犬山市では、準備段階ということで、これからどのような形でやっていくか、ということが非常に今、検討されているところであります。</p> <p>そういう面でこの小児を、先ほど〇〇委員がおっしゃられたように発達に関しての問題は、非常にこれからどんどん進んでいこうと。</p> <p>ただその受け入れは、専門の先生が少ないという面がこれも 1 つありまして、今も現在も児童心理という、専門の先生はいらっしゃるんですけど、そこで受診を希望しても、何ヶ月も待たされるとか、そういう状況になっていますので、もう一般の開業医がそういう面で診断治療という面じゃなくて、アドバイスできる体制を整えるというのは、いいだろうと。いわゆる、私は診れませんよっていうのではなくて、今この子に困っていることに対して、何ができるかっていうのを家族と一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>そういう対応ができる、開業医にあるかかりつけ医を見つけていくことが大事だなと思って、今現在私自身も勉強しながら、そういう対応ができるようにしているところであります。</p> <p>だから病院、先生方は少し時間があると思いますので、特別な時間を作って専門外来</p>

	<p>をできるだけ開いていただいて、やっぱりそういうお子さんを見るには、5分10分では絶対見れませんので、30分、1時間とかけて話を聞いて情報を得ないと、何も進みませんのでなかなか一般開業医が、一般の診療時間内で対応するのは非常に難しいということで、これまでは、ほとんど対応できてない。つまり私たちは経験も知識も乏しかったということですね。</p> <p>これを、これからどんどん知識を入れて、経験をして、家族の困りごとに対して対応できるような方向でと。その一方、五歳児健診というのがもう始まっていくというので、一つ希望が出たかなというふうに思っております。</p> <p>ちょっと、だらだら話しましたがそういうことで今、非常に課題のことをおっしゃられて、頑張らないといけないかなというふうに思っておりますので、またよろしく願いします。</p>
副会長	<p>時間はだんだん過ぎておりますので、次に進めたいと思っております。</p> <p>今の一言だけなんですけれども、〇〇委員の学校でのこういう発達の問題とか精神的な問題、それから、専門医の〇〇委員がそれに対してお答えがありましたけど、なかなかその間だけで解決できる問題じゃないと思うんですね。</p> <p>やはりそこに初めてフォーマルな公というものが絡んでくると思う。</p> <p>〇〇委員の領域ですと、ある意味では、教育委員会の問題でもあるし、それから、医療とか、カンファレンス、そういう問題になってくると、健康推進のほうの問題となってくると。</p> <p>そんな形でバックアップしてあげないといけないと思うんですね。</p> <p>議員さんたちもそれは頑張ってもらわなきゃいけないと思うんですけど。どうなんですか、その辺は〇〇委員から悩みが出てましたけど、教育委員会と健康推進課の間でこの問題について話し合っていたとか、考えてみるという、今、直接すぐ返事はできないかもしれませんが、答えられる範囲でちょっと一言お願いします。その後、〇〇委員から一言お願いいたします。</p>
課長	<p>今、〇〇委員の方からご意見いただきました。</p> <p>当然市内、犬山市ですので、協力しながら、できることを進めていきたいというのは考えています。5歳児健診については、この後スケジュールを立てて、開始していくという予定となっております。</p> <p>また、教育委員会と協力しながら、発達とか入学してからの支援というところに関しては、検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思っております。</p>
副会長	<p>〇〇委員、議員の立場からでも結構ですし、元々、健康推進課にもおられましたので、その目線からでも結構ですのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>今、〇〇先生からご紹介いただきましたが、私、何年か前にこの健康館におりまして、</p>

	<p>大変、先生方にはお世話になりました。ありがとうございました。</p> <p>資料を見ていましたら、今回、健康市民づくり基金より、お金を出して、先ほど来、お話が出ている機器の購入をされる、進められている。これは今回、当初予算にも計上されております。この健康づくり基金、私が確か市民病院の建設基金って昔あったんですが、それを、〇〇先生が、市民の健康づくりにもっと使ってたらどうだということで、アドバイスいただきまして、変えた覚えがあります。</p> <p>今回機器が対象という形で買われるということです。</p> <p>機器の内容については、先ほど先生方からいろいろお話が出ていましたので、いいのに越したことはないんですが、その中で、中央病院さんとしては、患者さんの役に立つというものを選ばれたということです。</p> <p>先ほど出ておりましたが中央病院さん、身近な病院として救急医療とか、地域医療の中核として今までやってきていただいております。</p> <p>私たち議員の立場というのは、ちょっと微妙でしてこういった予算が出てきたりこういう考えが出てきたときに、それが本当に市民のために役に立つのか、そしてそれが効果的であるかってことを、一般的には審議して、それを行政に進めてもらうということです。先ほど来、各先生方から、この必要性については、私ども十分聞かせていただきました。大変参考になりました。</p> <p>今回が、終わりじゃない、これがスタートだと私は思っています。</p> <p>今までも、中央病院さんには、この地域の医療のためにご尽力いただいておりますが、これからはさらに、ある意味ステップアップをしていただいておりますね、地域の医療で、私たち市民が、皆さんが安心で、いつまでも、この犬山に住みたいというまちにしていかなくちゃありませんので、そういった意味においてですね、ぜひ有効に使っていただいて、そして開業医の皆さんとともにこの地域医療を支えていただきたいというのが私の本音でありまして、前、担当していたこともありまして、こういったことは、〇〇先生にも日頃からご指導いただいておりますので、改めてそれを認識したという会議になりますので、よく理解できましたのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>
副会長	<p>この機会ですので、〇〇委員、犬山市の民生委員の立場でお願いします。</p>
委員	<p>犬山市全域で、民生委員、児童委員、民生委員と児童委員は一緒になっているんですけど、130名おります。</p> <p>130人がですね、日頃、市民のですね、市民というよりも、65歳以上ですね、WHOが65歳以上高齢者と、指定しましたもんですから、65歳になっとるんですけど、実際、民生委員は75歳以上を主に、相手にするっていうんですか、面倒見させてくださいとるわけです。</p> <p>行政と民生委員、行政は給料もらってますけど、民生委員は民生委員法によって、給料は支給しないという、そういう法律があるんですね。</p> <p>ですので、全く別の組織なんですけども、行政に協力させていただきながら毎日やっ</p>

	<p>とるんです。</p> <p>どんなことかと言いますと、卑近な例で申し訳ないですけど、僕の近所の 90 歳近い方がお風呂に入られて、それから出て、そのまんまの状態です、朝まで転がっておられたんです。</p> <p>たまたまその日、次男がいつもは夕方訪れるのがたまたま朝訪れた。母親が、素っ裸で転がっていた、すぐに救急搬送をされたわけです。</p> <p>また、その一軒隣も脳梗塞、顔がゆがんで、土色の顔をして、救急搬送された。</p> <p>そういうことで、もう高齢者は本当に中央病院とか、或いはさくら病院、それから、各地の病院ですね、本当にお世話になっております。</p> <p>こういう病院がなければ、おそらくそのうちの何人かはもう命をつなげないと、いうぐらいですね、本当に多いんです。</p> <p>ということで今回もこのような形で、最新の機器を導入されるということですね。僕は実は、今でも機械の教員やっております、こういったメーカー名なんか構造なんかにはちょっと興味があるんですが、6 ページの一番下に、今まではヘリウム、1500 リットルが必要だということを書いてあって、新しい機械が 7 リットルになったと。じゃあヘリウム 1 リットルいくらかと思って調べたんです。そしたら、東大の研究所で、リッター当たり 410 円だそうです。</p> <p>これがどうされるのかわかりませんよ。他はですね、もうちょっと高いんです実は、というようなことがありますね。</p> <p>本当に中央病院さんには僕自身も含めて、僕も 2 回搬送されていますので、僕自身も含めて大変お世話になっておりますので、ぜひとも新しい機械を導入していただきまして、地域に貢献していただきまして、ありがたいと思います。</p> <p>民生委員全員のお願いでございます。</p>
副会長	<p>時間になって参りましたけどもあれば、〇〇委員。</p>
委員	<p>ずっとこの健康館で、皆さんとボランティアをしております。</p> <p>ボランティアをしてるって言っていますが私自身、素人なんですね、素人が、老人クラブさんとかいろんな方に来ていただいているんですけれども、余りにも高齢者が多くなりました。</p> <p>今までだったら、65 歳以上が高齢者だと思ってましたけど、今 75、80、もう 90 歳ですね、その方をお相手させていただく。私ももう 80 歳ですけども、そういう方がよくご存じなんですね、しかし自分ではやらない。それをどうしたら体を動かしてくれるかっていう。心を鬼にして、しっかりとしていただきまして帰っていただくんですけど。</p> <p>でも考えてみたら、高齢になってきて運動も嫌なんだろうなとつくづく最近感じるようになりました。</p> <p>ですから、やさしい言葉で、それが一番私たちの仕事かなと、これからも続けていきたいと思っております。</p>

副会長	<p>まだまだお聞きしたいところではありますが、時間がありませんので、欠席委員から意見が届いていると伺いましたけど。</p>
事務局	<p>それではですね、江南保健所の 1 号委員の〇〇委員から意見をいただいておりますのでご紹介させていただきます。</p> <p>議題の総合犬山中央病院の先端医療機器の助成については賛成いたします。</p> <p>総合犬山中央病院におかれましては、地域の人々が安心して暮らせる、心の支えとなる病院を目指し、開設より地域に根差した医療を提供することを使命に掲げ、犬山市をはじめ、多くの地域の住民に適切な医療を提供していただいております。</p> <p>今回の犬山市の助成により、先端機器を整備するとともに、病院の老朽化に伴う改築工事を進めていただき、引き続き地域の皆様が安心して暮らせるよう、多くの医療機関と連携し、地域医療を支えていただくことをお願い申し上げます、ということでした。</p>
副会長	<p>ちょっと私の方から最後にご質問させていただきたいんですけど、今回、補助金を使ったわけなんですけど、この補助金の扱いについては今回きりなのか。これに対して回答ください。</p>
補佐	<p>継続かどうかという話ですけれども、継続的に補助することを予定しているものではないということで、ご回答とさせていただきたいと思います。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんから一通り広く、ご意見を伺いました。</p> <p>非常に参考になるところがございましたので、次回からのこの委員会で、おおいにこの問題について議論できればなあと、私もそのように期待をしております。</p> <p>では、次に、次第では「その他」となっておりますが、事務局より何かありますか。</p>
事務局	<p>【資料2 犬山市健康づくり推進事業所表彰について説明】</p>
副会長	<p>それでは、労働産業関係を代表して、〇〇委員、ひと言いただけますか。</p>
委員	<p>昨年が 45 事業所、事業所に対して周知のお手伝いをさせていただき、どんどん参加していただくように努めたいと思いますが、これにつきましては、特に問題なく賛同させていただきたいと思います。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>あと2分で3時30分でございますので、これにて今日の会議は終わりにしたいと思います。</p>

課長	<p>かなり突っ込んだお話ができました。 このことを頭に置いていただいて、また次年度からこの委員会がさらに発展するのを私も祈っております。 今日は皆さんご協力ありがとうございました。 行政の方に、マイクを渡します。</p> <p>副会長、ありがとうございました。 委員の皆様におかれましては、ご教授、ご意見をいただきありがとうございました。 それでは、健康福祉部長の前田より、ごあいさつ申し上げます。</p>
部長	<p>今日は皆さん本当に全員の方からご意見をちょうだいしました。 私 30 年以上役所におりますが、こんな会議、今回が初めてです。 大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。 またこの会議、ここにおられる皆さん方の任期っていうのが、来週で 3 年ということで、一区切りということになります。 特に昨年度令和 6 年度には、健康プランの改定なども行っていただきましたので、その 3 年間のお礼ということもさせていただきたいと思っています。 さて、ちょっと話はそれるんですけども、市議会の議員の方お二人がご存じだと思うんですが、市長が施政方針、令和 8 年度に向けて、こんなことをやってるよというようなものを表明しています。 その中に、ここ、さら・さくらの中に、駅前にある保健センターを令和 10 年の 4 月に持ってくるよというようなことを表明しました。 当然我々、事務方も一緒になって考えた結論ということになるんですが、このさら・さくらっていうのが、ここにおられる〇〇先生が、平成 10 年に、保健福祉ゾーン整備計画というものをまとめることになられて、その中でこのさら・さくらっていうのが、保健医療福祉の拠点だよというようなことが位置付けられています。 保健センターの移転っていうのが、まさにその考え方で、立ち返りというふうに考えておられて、また改めて、4 月以降、先ほど申し上げましたように、一旦、委員の、ここにおられる皆様方の任期というのは切れますので、4 月以降に改めてまた委員の方の選任をさせていただいて、そのさら・さくらに保健センター持ってくる、加えて、新たな介護予防事業にも着手するということを表明をさせていただいております。 ですから、そういったことを、これから 3 年間かけて、しっかり考えていくということになりますけれども、ただいづれにいたしましても皆様方はそれぞれの立場で、委員をまた再任されるのか、しないのかということにかかわらず、犬山の健康づくりに対して、今まで通り、引き続きのご支援であったり、ご指導であったり、お力添えということをお願いを申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。 改めて 3 年間ありがとうございました。</p>
課長	<p>委員の皆様におかれましては、3年間本当にありがとうございました。</p>

	<p>以上をもちまして、健康まちづくり推進委員会を終了いたします。 なお、お帰りの際には、交通事故等には十分ご注意いただき、お帰りいただきますようお願いいたします。本日は、ありがとうございました。</p>
--	--